インドネシアから日本に来て早3年、EPA介護福祉士候補生二人の成長を見守り続けた3年間

介護福祉士の国家試験日（１月２５日）まであと１ヶ月を切っています。入職当初は、日本語もままならず職員とのやり取りも難しいほどでしたが、３年間という期間、どんなときも明るく入居者様に接し、どんなに苦しいときも勉強に励んできました。

入居者の皆様からも名前で呼ばれ、親しみやすい笑顔が印象的なジュマイダさん。いつも鼻歌を歌い、おっちょこちょいではあるものの、努力家のシティさん。今では頼もしい彩光苑の職員になりました。

試験当日には、今までの力を全て出しきって頑張ってほしいと思います。

特別養護老人ホーム
特養介護担当　２グループ
リーダー　　栗城　雪乃

候補者のお二人からひと言

ジュマイダです。勉強しながら仕事するのは大変です。時々ホームシックにもなるし、色々な不安もあるしで頭がグチャグチャになりました。でも、勉強をしないと試験で点数がとれないので頑張ります。私は大丈夫です。私はできる！

シティロイサです。いよいよ国家試験が近づきました。できるかできないかその事だけで頭の中がいっぱいで不安になることもありました。でも今は1回のチャンスだと思って、最後まで自信を持って頑張りたいと思います。合格するように頑張るぞ。PASTI　BISA(絶対できる)！！！

旅 彩光苑ツーリスト

秋も深まり始めた１０月、紅葉の見頃を迎えた那須へ職員旅行に行きました。業務に支障が出ないよう、３回に分かれての日帰り旅行となりましたが、職種や年齢の垣根を越えて親睦を深めることができ、有意義な旅行となりました。

心も体もリフレッシュし、また気を引き締めてより良いサービスを提供していきたいと思います。

理　念

私たちは、地域の人々のために、共に手をつなぎ、一人ひとりを大切にし、安心して暮らせるように「福祉・医療・保健」を連携させたサービスを提供します

－ 基本方針 －

特別養護老人ホーム　彩光苑（介護老人福祉施設・短期入所生活介護）
・家族や地域の人々とともに、高齢者の尊厳を守りつつ寄り添うケアに努めます
・利用者のみなさまが、安全で安心して暮らせる環境を整えます

ケアハウス　彩光苑（軽費老人ホーム・特定施設入居者生活介護）
・利用者のみなさまの声を大切にし、いつまでも自立した生活が出来るよう支援します
・食事や入浴のサービスを通して、健康的な生活をささえます
・生涯にわたり、安心して生活を営むことができるサービスを提供します

内牧クリニック
・地域の人々の健康を願い、心のこもった医療を提供します
・誰もが気楽に集えるクリニックとして、健康相談を行います
・社会福祉法人のクリニックとして、生活困窮をかかえる方々の医療をささえます

彩光苑だより　　第４５号

ふれあい

発　行　社会福祉法人 恩賜財団 済生会
支部埼玉県済生会彩光苑
〒344-0051
春日部市内牧3149
発行者　所長　田嶌　襄
編　集　総務人事課
発行日　平成27年1月25日

彩光苑ホームページ　http://www.saiseikaisaikouen.jp

特別養護老人ホーム彩光苑　・　ケアハウス彩光苑　・　内牧クリニック

ふれあい

平成２７年１月１１日（日）彩光苑駐車場にて餅つき会を開催しました。当日はとても天気が良く、近隣の皆様と一緒に実際に餅つきを行いました。

会場には、コマやけん玉といった昔懐かしのおもちゃで遊ぶコーナーも設けられ、大人も子供も一緒になって楽しみ、「時間を忘れてしまうほど楽しかった」といった声も頂きました。

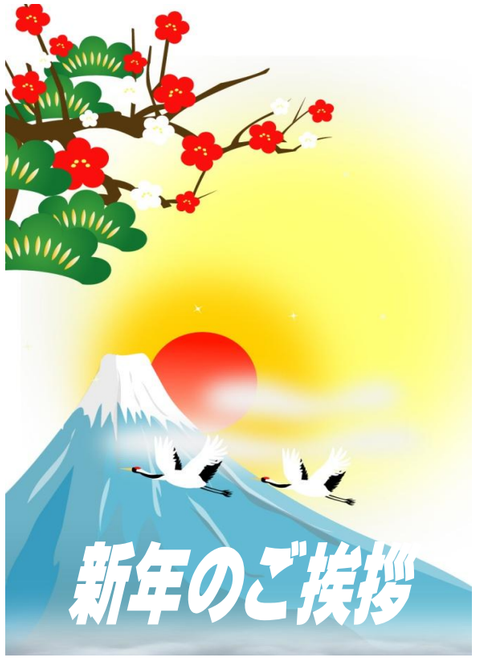
また、職員が扮した獅子舞は、子供たちから人気で記念撮影も行いました。

これからも、彩光苑のことを広く知って頂くために、地域の方々との交流を大切にしていきたいと思います。

topics

新年のご挨拶
福祉祭り「ふれあい広場」
クリスマス会
国家試験直前!!
職員旅行旅日記
増刷号
渥美二郎歌謡ショー
寿司奉仕、そば打ち、味噌寄贈
玉民謡、庄和歌舞連

CS標語　『直ぐの行動が信頼となり、良いマナーが安心を生む』



彩光苑　所長　田嶌　襄

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

初めに、昨年末、当地春日部市内牧出身の世界ボクシング協会スーパーフェザー級チャンピオンの内山高志選手が、世界タイトルマッチ戦に挑み、挑戦者を９回棄権（戦意喪失）ＴＫＯにより見事９度目の防衛を果たしました。心からお祝い申し上げる次第です。当苑では、この１年のスタートダッシュをチャンピオンの力と勢いでさらに拍車をかけて、素晴らしい年にしたいと考えております。

一方、当苑内において１２月中旬から１週間の間にインフルエンザ（Ａ型）の罹患者４０名（職員含む）を出しましたこと誠に申し訳なくお詫びいたします。また、関係各位、関係機関には多大なご迷惑ご心配をおかけしましたこと深く陳謝いたします。１２月２０日以降は新たな感染者は出ておりませんので終息を宣言したところです。今後も感染症対策には、厳重に対応してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

さて、今年は、社会貢献活動をより一層推進する元年とします。一つ目は、生活困窮者支援です。特に高齢者世帯の方で、生活上お困りの方が、いつでも相談できる窓口を生活支援課相談支援担当に配置し、ケースバイケースの援助をしてまいります。二つ目は、地域支援です。この支援は、地域と施設が連携して、ニーズに応えていくものです。例えば、医療や介護に関する講座を開催します。また、地域住民の皆様と交流を図り地域の活性に協力します。三つ目は、災害支援です。昨今の自然災害を見ますといつどこで災害が起きても不思議ではありません。私たちは福祉施設が災害に見舞われた時に、被災者からの要請に直ぐに対応できる派遣チームを編成し、研修などを行っております。この３本柱を今年から積極的に推進してまいります。

結びに、今年も入居者の皆様やご家族様にとって、良い年でありますようご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

内牧クリニック　院長　前川　勝治郎

明けましておめでとうございます。

内牧クリニックは、今年の４月で４年目を迎えます。これまで無事に診療を続けてこられたのも、偏に皆々様方のご支援ご協力のお陰だと思います。有難う御座います。昨年も、徐々にですが初診の患者様が増え、近隣の医療機関からは、特に大腸内視鏡検査の依頼も多くなってきました。今後も更に期待に沿えるように件数を増やして行きたいと思います。

昨年の地域のふれあい市民講座の内容は、『認知症』と『心臓病について』でした。今年も講演などを通して地域住民の皆様とのふれあいを大切にしていきたいと思います。

昨年はまた悲惨な出来事がありました。紅葉シーズンの御嶽山で登山客を襲った噴火、各地で起こった豪雨災害、いずれも多くの犠牲者が出ました。しかしスポーツ界ではうれしい出来事もありました。テニスでは錦織選手が日本人で初めて世界大会で決勝まで勝ち進みました。また冬季オリンピックでは、浅田選手がフリーで自己最高の演技をやり切り、羽生選手は男子フィギュアで日本人初の金メダルを獲得しました。そしてスキージャンプの葛西選手は、前回のオリンピックでメダルを逃しましたが、奮起して見事銀メダルを獲得しました。さらに学問界では日本人３人がノーベル賞を受賞しました。何事にも一生懸命頑張る人の姿は人の心を動かし、励みになると思いました。

当地では、昨年の１２月中旬頃、インフルエンザＡ型が流行し、施設では３０人以上の入居者様が罹患しました。しかし、全職員が一丸となって過去の経験を生かし、大事に至らずに完治したことは、チームワークと個々のプロとして職務を発揮させた賜物と思っています。

今年は「羊」の年です。押しが弱く消極的ですが、芯は強く負けず嫌いの頑張り屋の動物だそうです。私たちもそのような気持ちで１年を過ごして行きたいと思います。

今年も皆様のご多幸を祈念すると共に、これまでと同様にご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

地域とふれあう「福祉祭り・ふれあい広場」出店

１１月１日（日）ウイングハット春日部で行われた「福祉祭り・ふれあい広場」に出店しました。当日はあいにくの雨となってしまいましたが、入居者様やボランティアの方々のご協力もあり、手芸品や農作物など様々な品物を出品させていただきました。

今年度、特養の入居者様が初めて会場に遊びに来て下さいました。また、普段お世話になっているボランティアさんも出店しており、来場者の方だけでなく、多くの方々との交流の場となりました。

次回もまた、よりたくさんの方に彩光苑の良さを知ってもらえる場にできればと思っています。

彩光苑にサンタがやってきた！

１２月２４日（水）、クリスマス会が行われました。特養では、黒ひげ危機一髪ゲームクリスマスバージョンとして、入居者の方に鍵をさしてもらい、大きなプレゼントの箱からサンタが飛び出すというゲームを行いました。また、ジングルベルの合唱・合奏では入居者の皆様が鈴等の楽器を持ちながら笑顔で嬉しそうに歌い演奏していました。

そしておやつの時間には、クリスマスプレゼントとしてケーキ（ホール）・トッピングした巨大プリン・お菓子ツリー等を美味しそうに召し上がっていました。入居者の皆様の笑顔が溢れる楽しい一日となりました。

ケアハウスでは、職員・入居者参加の大喜利を行いました。「クリスマスなのに、サンタが現れないのはなぜ？」等のお題に対し、色とりどりの半被を羽織った参加者からは珍回答や名回答（迷回答？）が飛び出しました。

また、司会者からの指示を無視し、職員扮する山田君が勝手に座布団代わりの開運トイレットペーパーを持ち去ってしまうというハプニングもあり、会場は笑いの渦に包まれていました。

最後は、昔なつかしいガラポン抽選器での福引抽選会を行い、わくわくドキドキしながら楽しまれていました。

皆様にお伝えしたい記事が多く寄せられましたので今回は特大号を作成いたしました。

渥美さん今年もお待ちしております

入居者様が待ちに待った渥美二郎歌謡ショーが開催されました。

会場の装飾は、ケアハウス入居者様も手伝って下さり、来苑し会場を見た渥美二郎様も大変喜ばれていました。

代表曲だけでなく、入居者様に合わせ懐かしい曲を交え、全１０曲を披露して下さいました。その中で、入居者様代表と名曲【夢追い酒】・職員代表と【東京ナイト】を暖かくサポートしながらデュエットもして下さいました。

また、デビューする前に流しをしていたというお話をして下さり、入居者様の唐突なリクエストやアンコールにも応えて下さいました。

入居者様は、歌を聴きながら一緒に口ずさんだり、涙を流したり、満面の笑みをずっと浮かべていたりと、とても記憶に残る幸せなひと時となりました。

入居者様の笑顔を見て、今年も是非来苑して頂きたいと切実に願うばかりです。

手作りお味噌寄贈

ボランティア「春日部くらしの会」様より手作りの味噌を頂きました。

寄贈式では、入居者を代表して鈴木良典様がお礼の挨拶をしました。入居者の皆様は、美味しい味噌を使った食事を楽しみにされています。

1年のお楽しみ

春日部鮨商組合による寿司奉仕が行われました。事前にポスターなどで告知した事もあり、「マグロあるの？」、「おかわりしていいの？」など、入居者様はこの日を心待ちにしていました。

当日は待ちきれないのか、職人さんが握っている様子を間近で見学する入居者様もいらっしゃいました。提供されたお寿司は、「美味しかった」、「毎日食べたい」などと大好評でした。

ケアハウス食堂にて、春日部そば打ちクラブと所長による『手打ちそば』が振る舞われました。入居者様はそば粉を『混ぜる』・『練る』・『延ばす』・『切る』という一連の作業を興味深く見学されていました。

入居者様に、打ちたてのそばを順に召し上がって頂き、皆様笑顔で「おいしい」と喜ばれ、中にはおかわりをする方もいらっしゃいました。食べ終わった方にはそば湯を提供し、そば屋の気分を味わって頂きました。新そばをいち早く食べることができ大盛況の内に終わりました。

玉民謡クラブ

１１月の中旬、玉民謡クラブの皆様が来苑されました。入居者の皆様は始まる前から楽しみにされており、沢山の方々が参加して下さいました。民謡がお好きな入居者様が多く、ほとんどの曲を口ずさんでいる方もいらっしゃいました。

お馴染みの「草津節」では、「ドッコイショ」と大きな声を出し、「炭坑節」では輪になって踊り、入居者様の表情は明るく、「楽しかった」との声が聞かれました。

庄和歌舞連

ケアハウスにて、庄和歌舞連による歌や踊り、芝居の公演が行われました。きれいな衣装に華やかな舞台、皆が芝居に入り込み、懐かしの曲を口ずさみ、自然と手拍子も出ていました。

なかでも小学４年生のももかちゃんの踊りはとても躍動的で、聞き手の手拍子にも力が入っていました。また、見つめる眼差しも温かく「よかったよ」と声を掛ける方もいました。

最後に千昌夫さんの「北国の春」を皆で振りを付けて、一緒に歌いました。あっという間の１時間でしたが、ボランティア・入居者様・職員が一体となり心も体も温かくなる公演となりました。